

## ◎平成29年度一般会計予算 42億1千3百万円

平成29年度の一般会計及び特別会計の予算は3月2日開会の定例村議会において提出され、きめ細かい審議を経て3月10日原案どおり可決されました。

一般会計の予算は42億1千3百万円で、前年度に比べ約0.8%の増額となりました。

### ○一般会計歳入

単位：千円

	款	本年度	前年度	比較	説明
1	村 税	544,727	541,102	3,625	村民税、固定資産税、軽自動車税、村たばこ税、入湯税。
2	地方譲与税	57,000	57,000	0	地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税。
3	利子割交付金	500	500	0	預金利子等の所得に分離課税された県民税から一定割合が交付。
4	配当割交付金	1,000	1,000	0	特定配当等の額に分離課税された県民税から一定割合が交付。
5	株式等譲渡所得割交付金	1,000	1,000	0	特定株式等譲渡所得に分離課税された県民税から一定割合が交付。
6	地方消費税交付金	78,200	77,800	400	消費税8%のうち、国6.3%・地方1.7%（県1/2、市町村1/2）。
7	自動車取得税交付金	12,000	12,000	0	自動車取得税の一定額が村道の延長と面積を基準に交付。
8	ゴルフ場利用税交付金	0	2,000	△ 2,000	
9	地方特例交付金	400	400	0	減収補てん特例交付金。
10	地方交付税	1,811,000	1,576,000	235,000	村の基準財政収入額と基準財政需要額の差を国が交付。歳入の4割強。
11	交通安全対策特別交付金	1,200	1,200	0	交通反則金を配分。道路交通安全施設整備に充当。
12	分担金及び負担金	12,729	13,433	△ 704	学校給食費負担金、各種検診個人負担金など。
13	使用料及び手数料	19,028	19,598	△ 570	村営住宅や体育施設の使用料、公共物占用料、各種証明手数料など。
14	国庫支出金	533,484	338,495	194,989	障害者福祉サービス費等負担金、児童手当特例給付費負担金、社会資本整備総合交付金など。
15	県支出金	254,465	193,307	61,158	障害福祉・児童福祉・社会福祉補助金、小規模土地改良補助金など。
16	財産収入	9,034	11,554	△ 2,520	土地、建物の貸付料、基金の預金利子など。
17	寄附金	40,001	10,001	30,000	村民や各種団体からの一般寄附金及びふるさと納税寄附金。
18	繰入金	218,501	432,173	△ 213,672	村の貯金（地域づくり特別事業基金他）からの繰入れ。
19	繰越金	30,000	50,000	△ 20,000	前年度決算後の余剰金。
20	諸収入	47,231	69,437	△ 22,206	預金利子、貸付金元利収入、花の駅事業収入及びスポーツ振興くじ助成金などの雑収入等。
21	村債	541,500	772,000	△ 230,500	過疎対策事業債、臨時財政対策債。
歳入合計		<b>4,213,000</b>	4,180,000	33,000	
歳入合計のうち自主財源		921,251	1,147,298	△ 226,047	

○一般会計歳出

単位：千円

	款	本年度	前年度	比較	説明
1	議会費	71,112	71,073	39	村議会の活動に要する経費。
2	総務費	988,166	580,105	408,061	人事、企画、財政、情報政策、徴税、戸籍、選挙、交通安全など。
3	民生費	745,865	843,882	△ 98,017	障害者福祉、児童福祉、高齢者福祉、福祉医療、保育所など。国保・介護各会計への支出など。
4	衛生費	422,172	471,371	△ 49,199	総合検診、予防接種、環境衛生、健康管理センター、簡水・後期高齢各会計への支出など。
5	労働費	54	51	3	労働関係各団体への負担金・補助金の支出など。
6	農林水産業費	413,724	218,405	195,319	農業委員会、農業土木、農業・畜産振興、林業・水産業費など。
7	商工費	87,367	89,106	△ 1,739	商工業振興、観光振興。
8	土木費	334,770	271,616	63,154	道路、橋梁、河川、除雪経費、下水道会計への支出など。
9	消防費	158,920	152,301	6,619	広域消防への負担金、消防団経費など。
10	教育費	615,988	1,114,997	△ 499,009	片品中学校建設工事費などの学校教育のほか、生涯学習やスポーツ振興など。
11	災害復旧費	3	3	0	大雨、暴風、地震などの災害による被災施設の復旧費。
12	公債費	285,959	279,890	6,069	村債の元金・利子、一時借入金の利子。
13	諸支出	85,900	85,200	700	観光施設事業特別会計への補助。
14	予備費	3,000	2,000	1,000	予算外の支出または予算超過の支出に充てる経費。
	歳出合計	4,213,000	4,180,000	33,000	

○特別会計予算

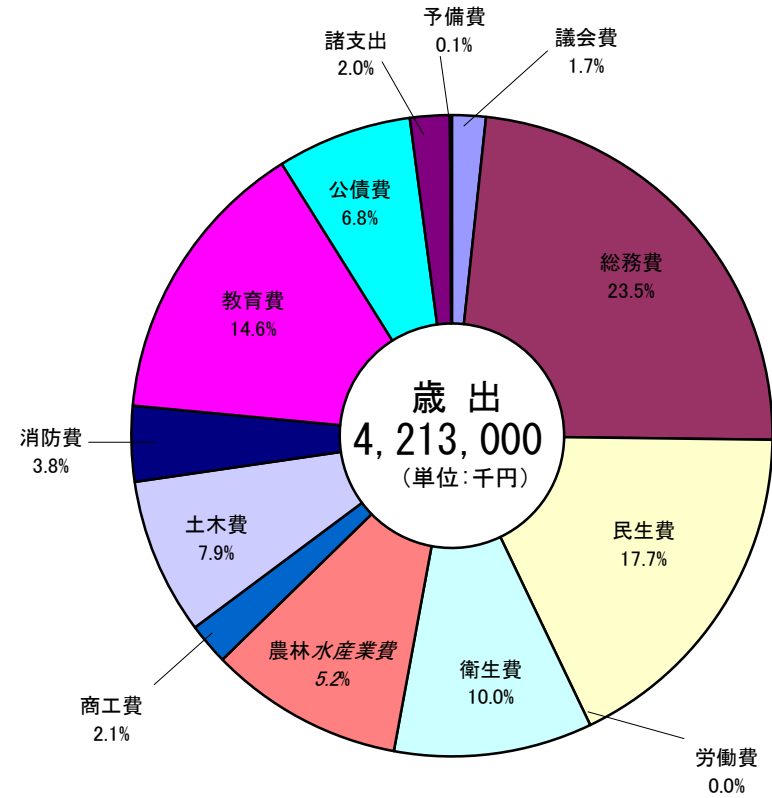
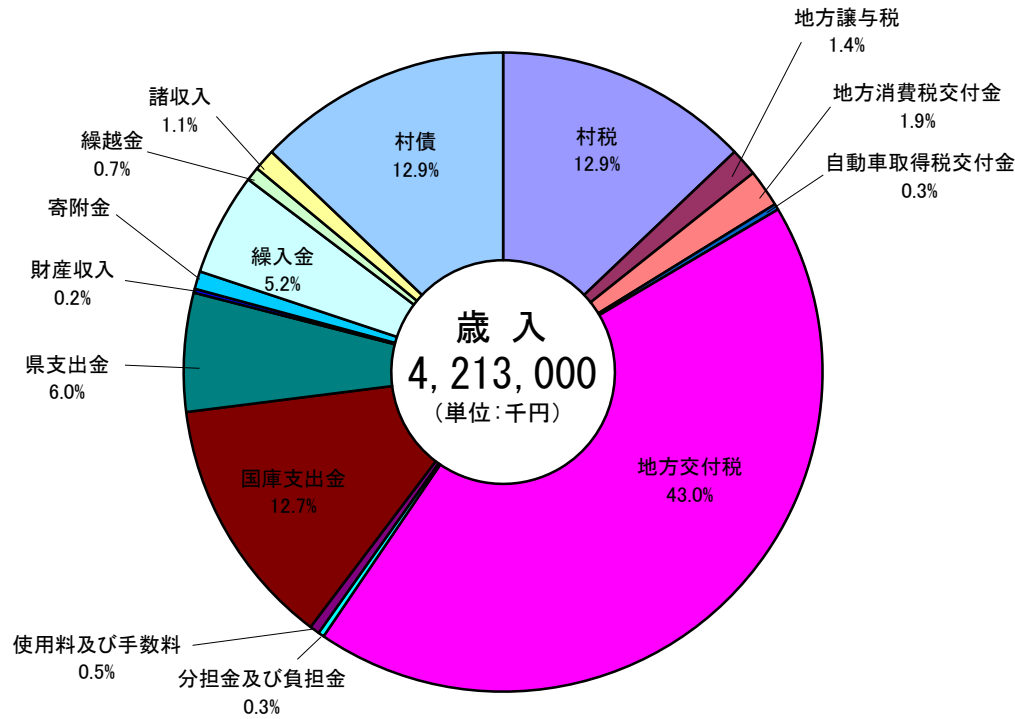
単位：千円

特別会計名	本年度	前年度	比較	説明
国民健康保険	884,236	910,719	△ 26,483	社会保険、共済組合等の加入者以外の医療費給付事業。
簡易水道事業	88,200	83,100	5,100	6つの簡易水道事業の管理運営。
観光施設事業				オグナほたかスキー場、武尊牧場観光施設の経営管理。
収益的収入	105,742	105,930	△ 188	経営による収益。他会計補助金。
収益的支出	95,564	95,743	△ 179	収益を上げるための経費。
資本的収入	0	0	0	他会計補助金。
資本的支出	54,208	43,306	10,902	企業債、長期借入償還金。
介護保険	517,008	528,784	△ 11,776	介護予防、介護サービス事業。
下水道事業等	92,439	81,529	10,910	農集排、特環公共下水道事業の管理運営。
後期高齢者医療	58,500	56,967	1,533	75歳以上（一定の障害等がある人は65歳以上）の者の医療費給付事業。

# 歳入歳出予算款別比較表

## 《 歳入 》

## 《 歳出 》



平成29年度当初予算の主要事業（●は重点項目）

1. ～自主・自立の村づくりのために～（村民・行政）

- むら・ひと・しごと創生総合戦略を推進する。
- 固定資産（家屋）の課税資料となるGIS（航空写真）データに家屋図データを取り込み、家屋を正確に把握して固定資産税の課税漏れをなくすとともに、正確な公図の提供を行う。
- 個人住民税特別徴収の一斉指定を行う。

2. ～誰もが安心して暮らせるために～（保健・福祉）

- 低負担高福祉政策を継続させていく。
- 村民が安心して暮らせるため、保健・福祉・医療・介護の総合的な事業展開による地域福祉の向上を図る。
- 新片品村児童館内に放課後児童クラブを設置し、放課後児童の生活の場を確保する。

3. ～豊かな心をはぐくむために～（教育・文化）

- 片品中学校改築事業の継続実施を進める。（H28～H30 継続事業）
- 子どもたちの安心・安全を確保する。
- 確かな学力を身につける教育を進める。
- 地域と連携した交流・体験事業を充実させる。
- 文化・芸術活動を推進する。

4. ～快適で安全な生活のために～（環境・安全）

- 生活道路網の保全整備と老朽化した橋梁の長寿命対策を実施する。
- 北部浄化槽センターの長寿命化を図るために、ストックマネジメント全体計画（再構築基本設計）の策定を進める。
- 片品日光間の路線バス運行及び村内路線バス運賃補助を実施する。

5. ～若者がいきいきと働くむらづくりのために～（産業・雇用）

- 第4次総合計画前期基本計画及びむら・ひと・しごと創生総合戦略を推進し、若者の雇用創造等を図る。
- 村中心地活性化に資する交流連携拠点整備を推進する。
- 新たな名物料理や加工品の開発強化のため6次産業化を推進する。
- ぐんま緑の県民税等で森林整備を支援する。
- 有害鳥獣対策として防護柵の設置と電柵購入の補助等を実施する。
- 近代化農業推進のためトマト育苗自動灌水システム導入補助を実施する。
- 地域収益力強化のためトマト集配センター整備事業に伴い、パイプハウスの導入を実施する。